

2014年3月活動報告

日時	2014年 3月25日(火曜日) 午後1時から
場所	芸術劇場 ミーティングルーム3
参加者	ウイメンズ会員10名
内容	<p>テーマ『声に出して読もう』</p> <p style="text-align: right;">提案者 宮崎ふみ子</p> <p>趣旨</p> <p>人は長い歴史の中で、肉声を使って伝え合ってきた。言葉は声に出してはじめて伝えることができ、それは人間社会の根本でもある。とても重要なことだ。</p> <p>そんなことを思わなくても、声を出すことは単純に気持ちがいい。言葉の意味を広げられる。想像力を豊かにする。</p> <p>そこで今回は参加者全員が声を出すことに挑戦してみた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 発声練習 <ul style="list-style-type: none"> 北原白秋 作「五十音」 与田準一 作「ことばのけいこ」 滑舌練習 <ul style="list-style-type: none"> 「外郎売」のセリフ 詩の朗読 <ul style="list-style-type: none"> 山村暮鳥 作「風景」 谷川俊太郎 作「生きる」 北原白秋 作「おまつり」 暗唱に挑戦 <p>いくつかの古典の有名な冒頭部分から自分の好きなものを暗唱する。</p> 朗読を聞く <ul style="list-style-type: none"> 絵本「いいから いいから」 小説 江國香織 作「デューク」 <p>まとめ</p> <p>円卓の会場はみんなの顔を見ながら会を進めることができた。発声練習や滑舌練習など日頃やったことのないことにも全員が取り組んでくれて、楽しく口の周りの運動ができた。古典の暗唱にも挑戦してくれて皆さん頑張ってくれた。たくさん声を出して、ちょっぴり頭を使って、お疲れになったと思うが有意義な時間となった。朗読はペットの犬が死んでしまった話だったが、ちょうどペットがなくなったばかりの小杉さんの涙を誘ってしまった。でも、「朗読って力があるのね。」と言ってくれた言葉がうれしかった。</p>



